

平成28年度 評価充実協議会 第3部パネルディスカッション
平成28年7月13日 東京ガーデンパレス

5



平成27年度
認証評価を経験して

びわこ学院大学
びわこ学院大学短期大学部
学長 賀川昌明

大学・短期大学部の概要

設置者： 学校法人滋賀学園

理事長： 森 美和子

学 長： 賀川昌明

開 学： 短期大学部 平成2年4月

（生活文化学科）

教育福祉学部 平成21年4月

（子ども学科）

所在地： 滋賀県東近江市布施町29番地

建学の精神

学校法人滋賀学園創始者 森 はな
「地域に貢献する人材の育成」

大学シンボルマーク



- ・びわこ学院大学の頭文字「B」と琵琶湖の波がモチーフ。
- ・カラーは滋賀県と本学の象徴である琵琶湖を表す「青」と、スクールカラーである「紺」
- ・波形のデザインによって、大学とそこに集う学生たちのたゆまぬ成長と邁進、発展をイメージ
- ・全体の形は膨らみかけている蕾を象形

短期大学部の現況 (平成27年5月1日現在)

学科名： ライフデザイン学科

コース名： 地域政策コース

ライフデザインコース

介護福祉士養成コース

学生数： 入学定員80名、収容定員160名

教員数： 9名

職員数： 28名(大学と共通)

大学の現況 (平成27年5月1日現在)

学部名： 教育福祉学部

学科・コース名：

子ども学科(子ども教育コース・子ども福祉コース)

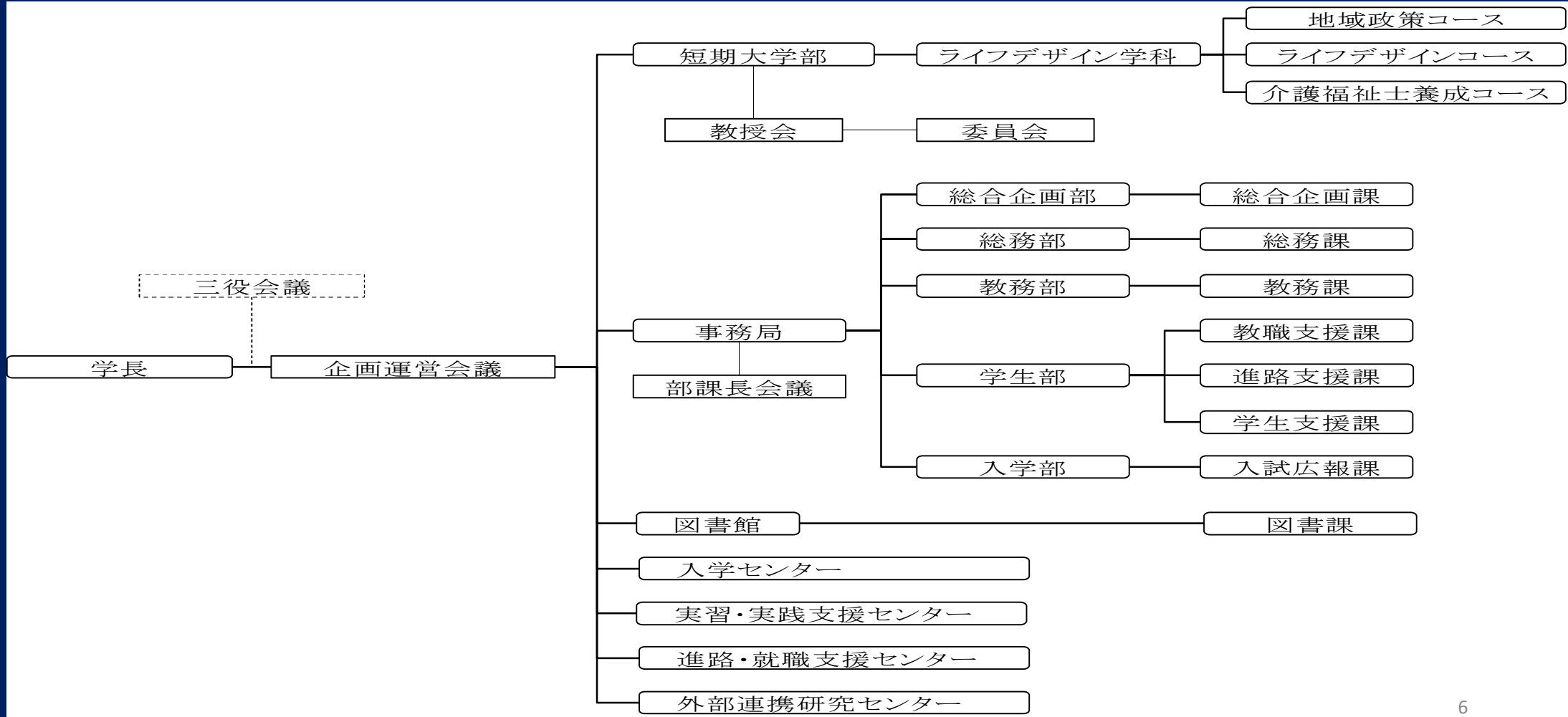
スポーツ教育学科(平成26年4月開設)

学生数： 入学定員120名、収容定員420名

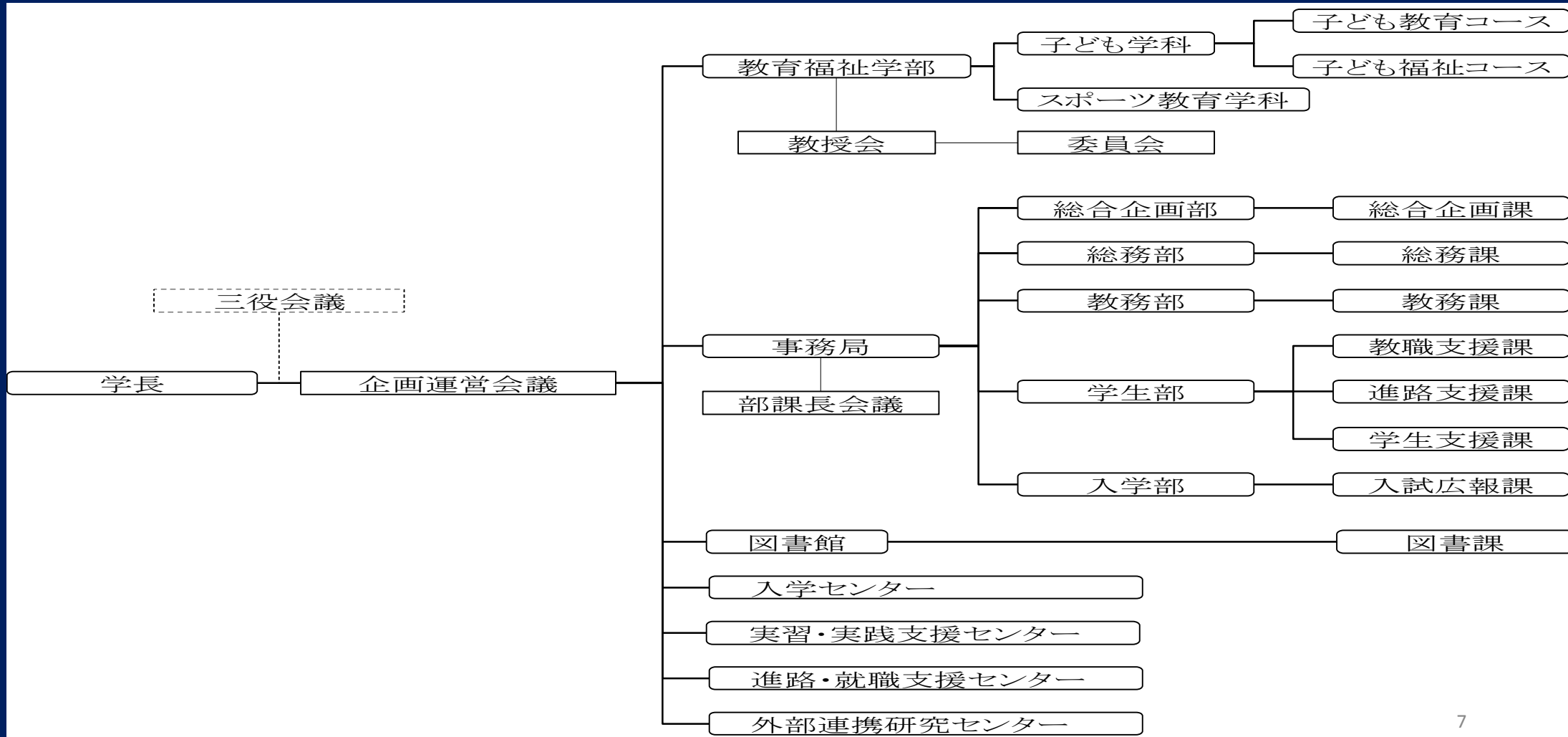
教員数： 24名

職員数： 28名(短期大学部と共通)

管理運営組織（短期大学部）



管理運営組織(大学)



自己点検・評価体制

自己点検評価委員会(四大・短大別に構成)

委員長： 学部長(四大)学科長(短大)

委員： 教務部長

学生部長

図書館長

事務局長

学長が必要と認める者

各委員の任期は2年、月1回の開催(定例)

認証評価受審に向けての作業経過

平成24年度

子ども学科の完成年度を迎え「平成21年度～平成24年度自己点検評価報告書」作成に取り組む。

平成25年度

「平成25年度自己点検評価報告書」の作成に取り組む。エビデンスの収集・整理の困難性に直面。

H25.09.01 認証評価連絡会議の設置

認証評価受審に向けての作業経過

平成26年度

H26.04.01

前年度作業を踏まえ、平成26年度自己点検評価書の作成、エビデンスの収集・確認に取り掛かる。

認証評価準備室設置（準備室長配備）

H26.06.13 平成27年度受審を決定。

H26.07.16 日本高等教育評価機構 陸 鐘旻 氏
を招き、研修会開催。

認証評価受審に向けての作業経過

認証評価連絡会議（四大・短大合同で構成）

委員長： 理事長

委員： 学長、学部長、学科長、教務部長、学生
部長、入試委員長、自己点検評価委員長
図書館長
事務局長、総務課長、教務課長、認証評
価準備室長

H26.07.30 第1回 ～ H27.12.24 第15回

認証評価受審に向けての作業経過

平成26年度 自己点検評価書における各項目の評価とエビデンスとの対応表

項 目	評価	エビデンス	備 考
基準 1. 使命・目的等			
1-1 使命・目的及び教育目的の明確性	○	/	
1-1-① 意味・内容の具体性と明確性	△	○	
1-1-② 簡潔な文章化	○	○	
1-2 使命・目的及び教育目的の適切性	○	/	
1-2-① 個性・特色の明示	○	○	
1-2-② 法令への適合	○	○	
1-2-③ 変化への対応	△	△	プロジェクトチーム立ち上げ FD/SD研修会開催状況
1-3 使命・目的及び教育目的の有効性	○	/	
1-3-① 役員、教職員の理解と支持	△	△	役員 の理解度
1-3-② 学内外への周知	○	○	
1-3-③ 中長期的な計画及び3つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映	△	△	中長期計画
1-3-④ 使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合性	○	△	自己点検委員会指摘事項、共同研究センター提案事項、学長と学生の懇談会概要

認証評価受審に向けての作業経過

企画運営会議における 課題と対応策提示

認証評価受審に向けての課題と対応策(案)

2014.10.1 賀川

1. 中・長期目標、計画の策定
学校法人滋賀学園経営改善計画（策定中）に基づく教学サイドの中・長期目標、計画
2. PDCA サイクルの仕組み確立
中・長期目標、計画に基づいた年度目標の設定と計画・点検

以上の2項目については、企画運営会議メンバーで中期目標・計画策定委員会を構成し、原案を作成する。
3. 学生と理事長・学長との懇談会→要望に対する対応策の提示
学生委員会において計画・実施する。
参加者の選定
日程調整(懇談会、対応策検討)と対応策の提示方法(掲示・ポータルサイト)

1. SA (Student Assistant) 制度の設置
教務委員会において計画・実施する。
実習・演習形式の授業における補助
応募資格(学年・単位習得状況・成績等)と採用条件(有給 or 無給、無給の場合はインセンティブを何に求めるか。)
2. 授業評価アンケート、卒業時アンケート分析結果のフィードバックと対応策の提示
FD委員会、学生委員会において計画・実施する。
どの時点のアンケートを対象にするのか。
3. 就職先に対する企業アンケートの実施
進路・就職支援センターにおいて計画・実施する。
対象企業等の選定、アンケート項目・実施時期の検討
4. 防災対策委員会の設置
企画・運営会議のメンバーで防災対策委員会を構成し、原案作成・実施を担当する。
防災マップの作成、防災訓練の計画・実施
5. 役割分担案
中期目標・計画策定委員会(賀川・仁木・藤井・那須・谷口・中西・森)
防災対策委員会(鳥野・浅田・奥田・長嶺・片山・高橋)

認証評価受審に向けての作業経過

自己点検評価書執筆分担

1部会 基準Ⅰ（使命・目的）、基準Ⅳ（自己点検評価）

2部会 基準Ⅱ（学修と教授）

3部会 基準Ⅲ（経営・管理と財務）

4部会 大学独自の取り組み

「受審の手引き」「評価書作成に係る確認事項」

記述内容の確認・修正（第一次原稿～第五次原稿）

語句・表記法の統一、四大・短大の調整（準備室主導）

認証評価受審に向けての作業経過

平成27年度

H27.05.18 事前相談（自己点検評価書案を送付）

H27.06.29 四大、短大ともに下記の資料を提出

1. 自己点検評価書 20部
2. エビデンス集（データ編） 20部
3. エビデンス集（資料編） 5部
4. CD-R 1枚

「実地調査」に向けての準備

H27.07.27 第1回評価員会議用資料の提出（1～4はメール送信,5は郵送）

1. 会場平面図
2. 視察ルート
3. 自己点検評価書作成における担当者一覧
- （4.訂正箇所）
5. 宿泊施設パンフレット

H27.08.24 書面質問および依頼事項受理

H27.09.10 書面質問および依頼事項回答

H27.09.24 実地調査事前の資料提出（メール添付）

H27.10.14 機構職員と事前打ち合わせ 本学にて

「実地調査」の実施

H27.10.15 実地調査1日目

評価員会議[第2回] (学内にて)

顔合わせ

昼食 (同席)

大学責任者との面談

基準ごとの面談

(基準2[四大]、基準2[短大]、基準3・4[四大,短大]の3ブースに分かれる)

評価員会議[第3回] (ホテルにて)

「**実地調査**」の実施

H27.10.16 実地調査 2日目

基準ごとの面談

(基準ABC[四大]、基準A[短大]、の2ブースに分かれる)

学生との面談

([四大]、[短大]の2ブースに分かれる)

昼食 (評価員のみ)

評価員会議[第4回] (学内にて)

「認証評価」の結果受領

- H27.12.18 評価機構より「調査報告書案」を受理
- H28.01.12 評価機構に「意見申立て返答書」を送付
- H28.02.05 評価機構より「評価報告書案」を受理
- H28.02.12 評価機構に「意見申立て返答書」を送付
- H28.03.09 評価結果の通知（四大・短大とも適合）
 - ・ 評価報告書・認定証
 - ・ CD-ROM[認定マーク、評価報告書、調査報告書]を受理
- H28.04.01 評価結果を本学HP上で公表
- H28.04.08 認証評価に関するアンケートに回答

「認証評価受審」の成果と課題

成果

1. 教育・研究体制見直しによる充実
(教員組織・事務組織)
2. 裏づけとなる資料の確認・整備
(規程・広報資料・実施記録等)
3. 教職員の意識改革

課題

1. 新たな評価基準への対応
2. 各種資料の蓄積・共有体制の整備